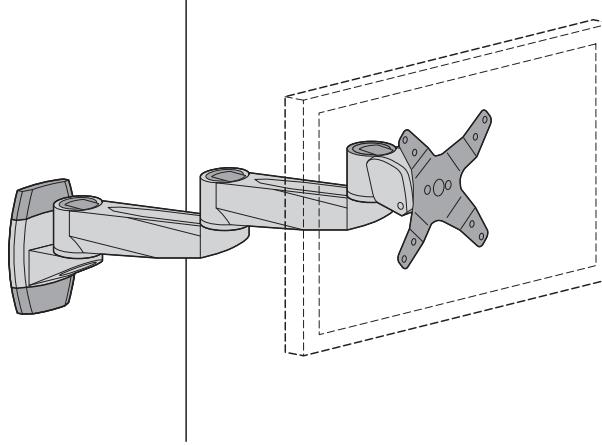




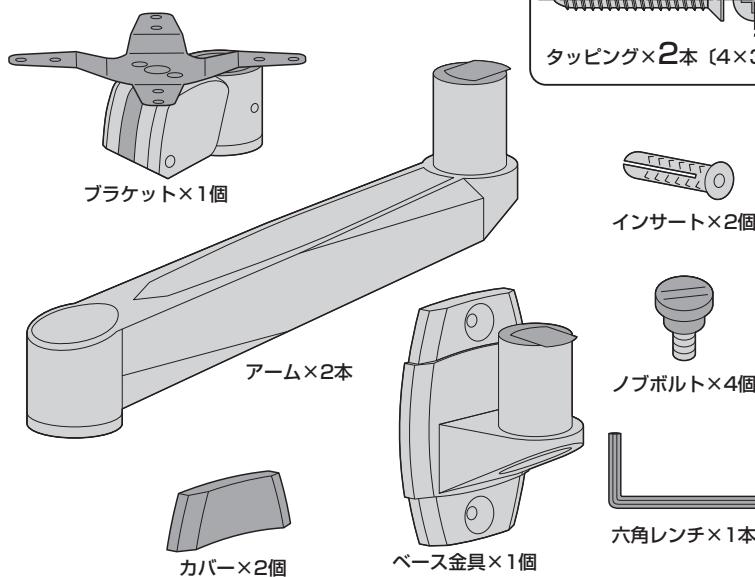
この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
この液晶モニタームは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッケージケースの中には、下記の部品が入っています。

完成図



総耐荷重 15kg (15kg以下のディスプレイを取付け可能)

組立て部品



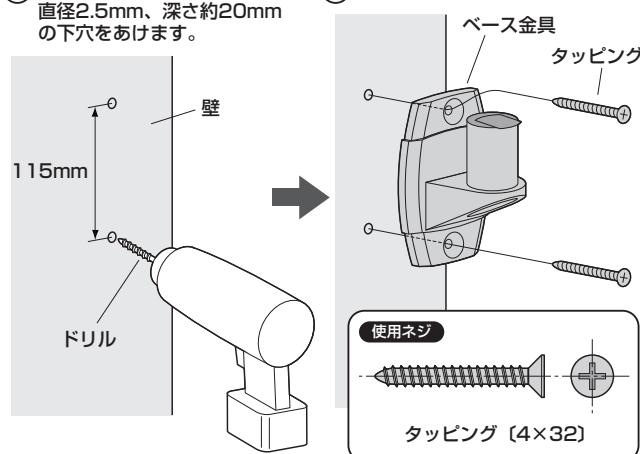
1 壁面にベース金具を取り付けます。(壁の内部構造により取付け方法が違います)

※必ず壁の内部に芯材がある部分に取付けてください。壁面はディスプレイと本製品(2.7kg)の合計重量の5倍の強度に耐えられるように、必要に応じて補強するなどしてください。

※壁に芯材が入っている場合

(石膏ボードや空洞がある材質の場合は芯材のある場所に合わせて取付けます)

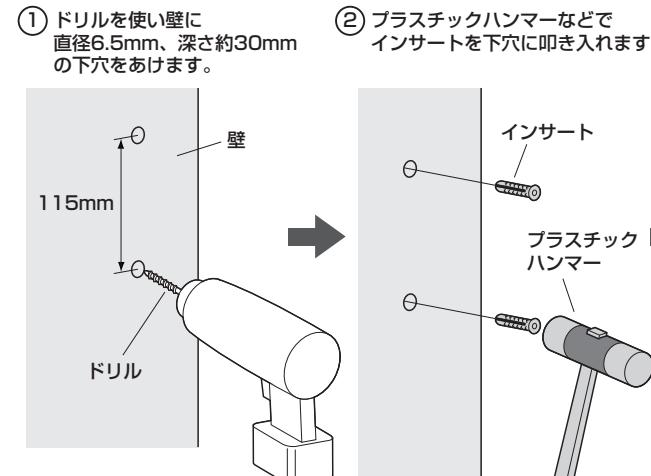
- ① ドリルを使い壁に
直径2.5mm、深さ約20mm
の下穴をあけます。



- ② ベース金具をボルトで固定します。

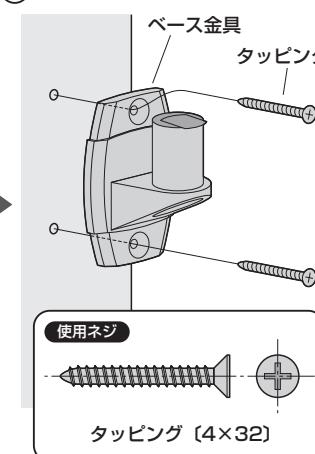
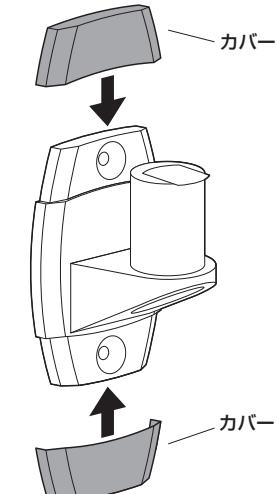
※コンクリートの壁の場合

- ① ドリルを使い壁に
直径6.5mm、深さ約30mm
の下穴をあけます。



- ② プラスチックハンマーなどで
インサートを下穴に叩き入れます。

- ③ ベース金具をボルトで固定します。

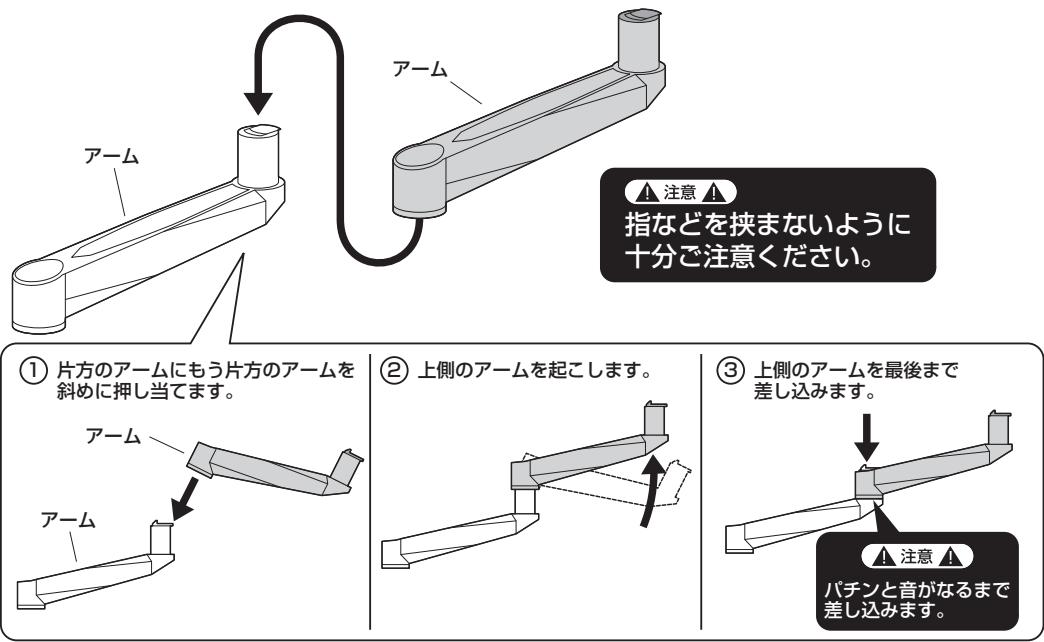
2 ベース金具にカバーを
取付けます。※それぞれ矢印の方向にパチンと
音がなるまで差し込みます。組立て説明書は組立て後も
大切に保管してください。この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。★用意していただくもの・・・・
電動ドリル、プラスチックハンマー
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

! 必ずお守りください !

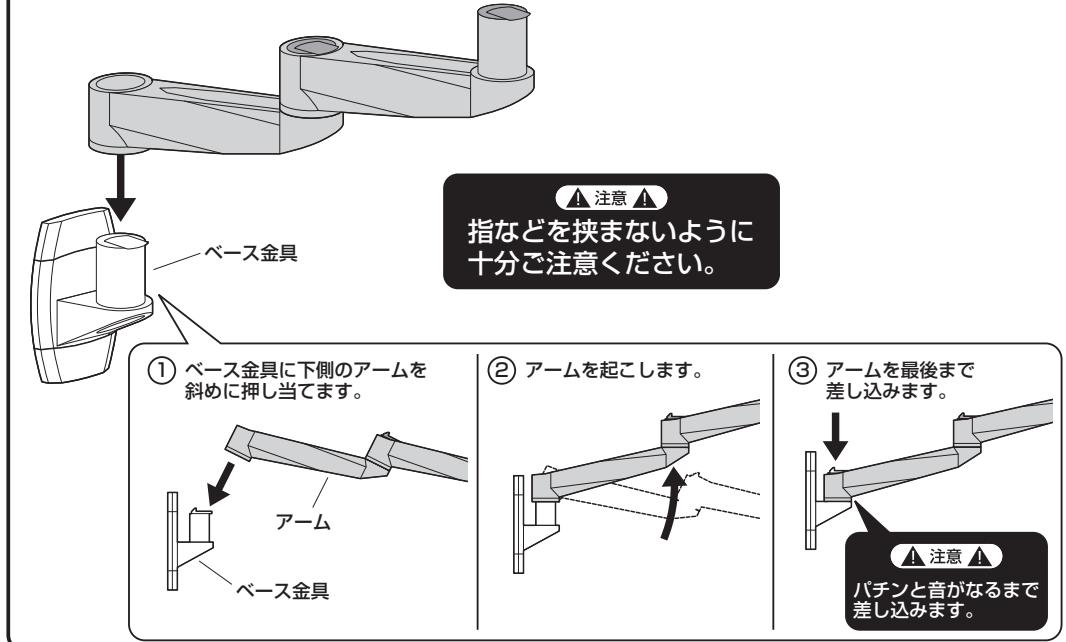
壁面はディスプレイと本製品(2.7kg)の合計重量の5倍の荷重に
耐えられるように、必要に応じて補強するなどしてください。壁面の構造、または材質が荷重に十分耐えられる場所に取付けてください。
強度が満たない壁面に取付けるとディスプレイが脱落する恐れがあります。※壁の材質や強度などが不明な場合は取付け工事業者など
にお問い合わせください。

※また、本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付け穴、インサートが残ります。ご了承ください。

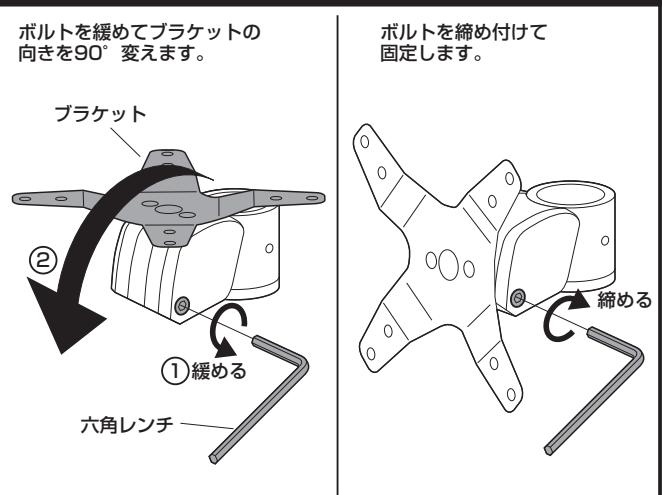
3 2本のアームを組合せます。



4 ベース金具にアームを差し込みます。

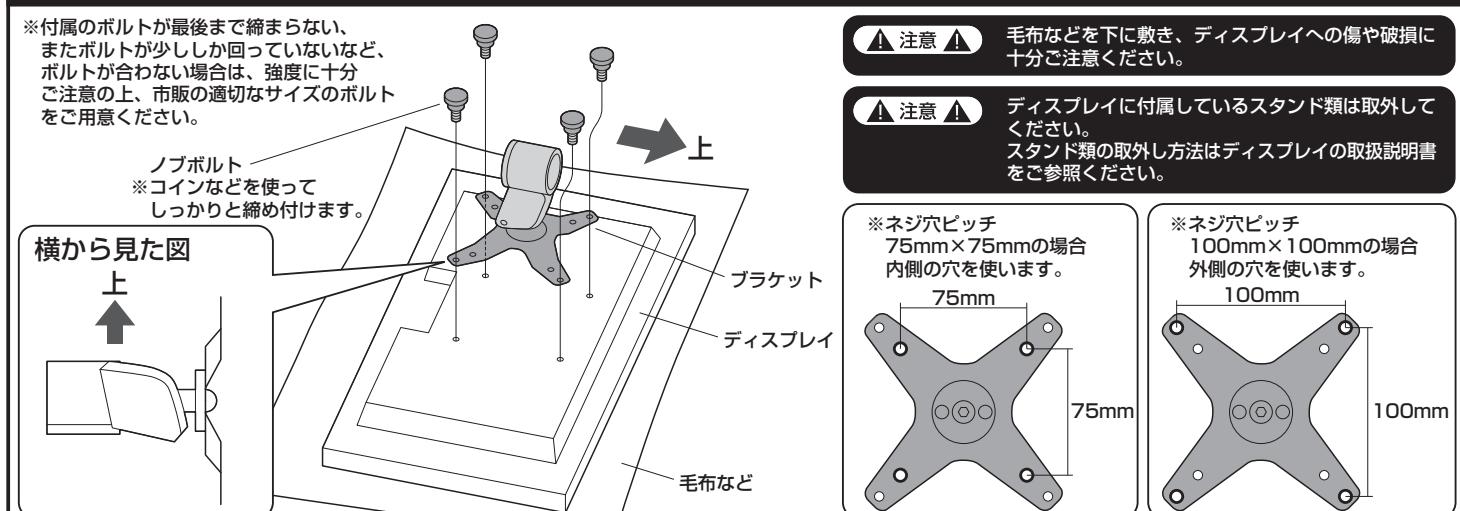


5 ブラケットの向きを変えます。



6 ブラケットをディスプレイの裏面に取付けます。

※取付け可能なディスプレイの重量は15kgまでです。それ以上のディスプレイは絶対に取付けないでください。



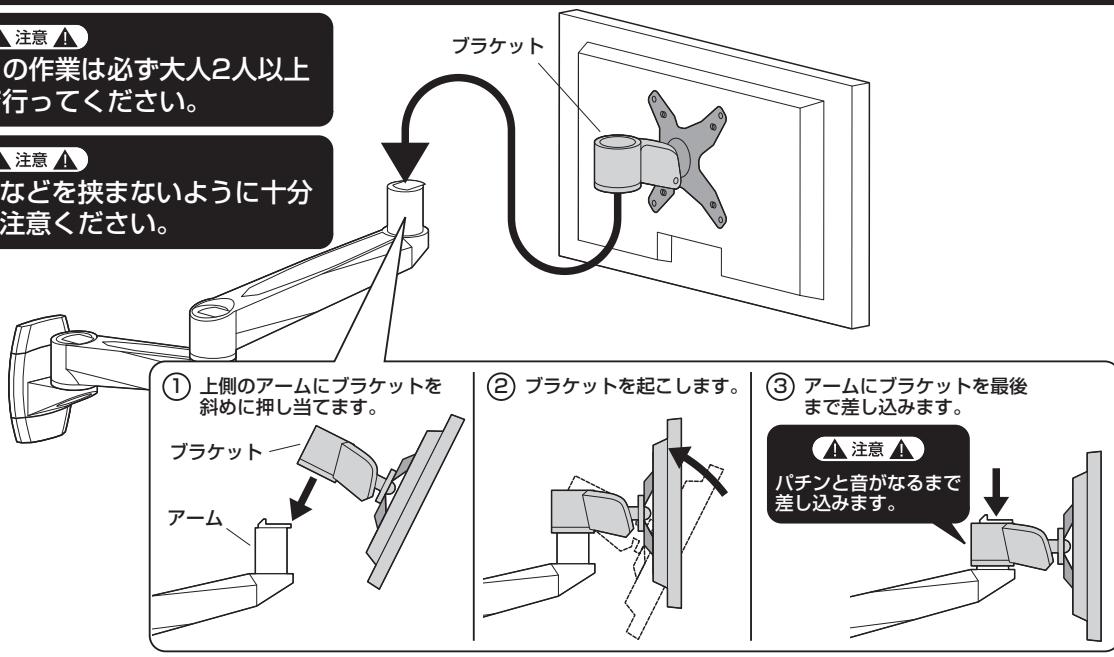
△ 注意 !
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

△ 注意 !
ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。
必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

7 アームにブラケットを取付けます。

⚠ 注意 ⚠
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

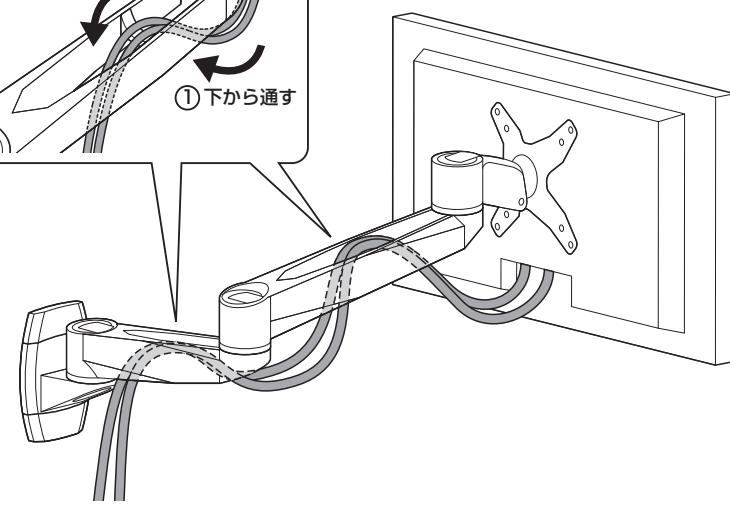
⚠ 注意 ⚠
指などを挟まないように十分ご注意ください。



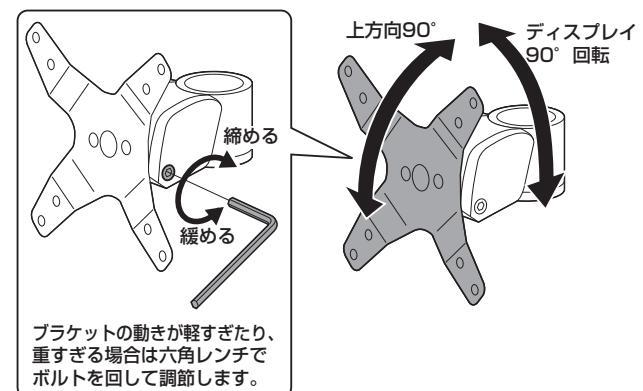
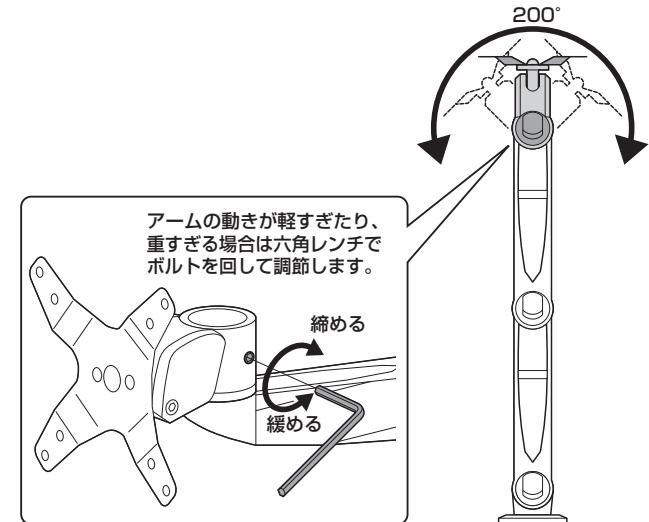
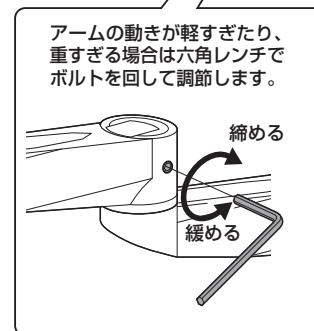
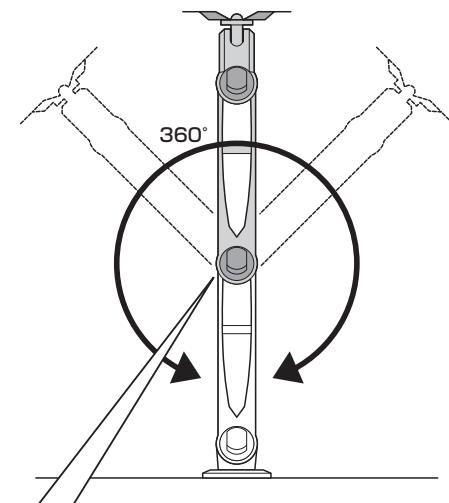
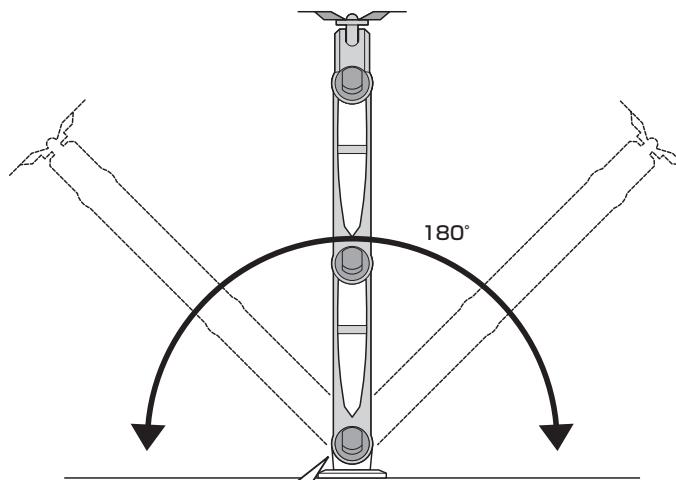
8 ディスプレイにケーブルを取付けて完成です。

アームにケーブルを引っ掛けます。

② 上から通す
① 下から通す

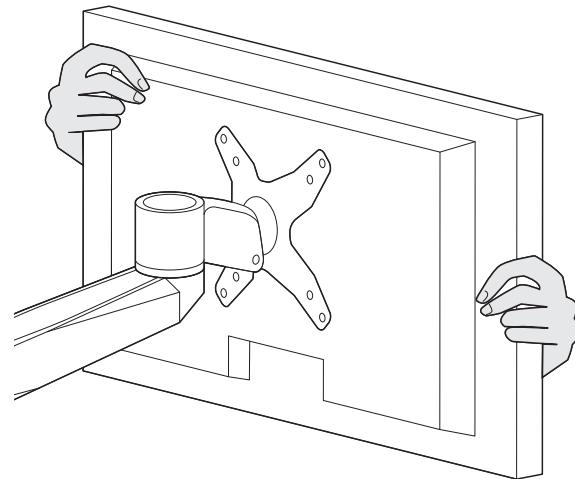


アーム各部の可動範囲、及び固さ調節方法

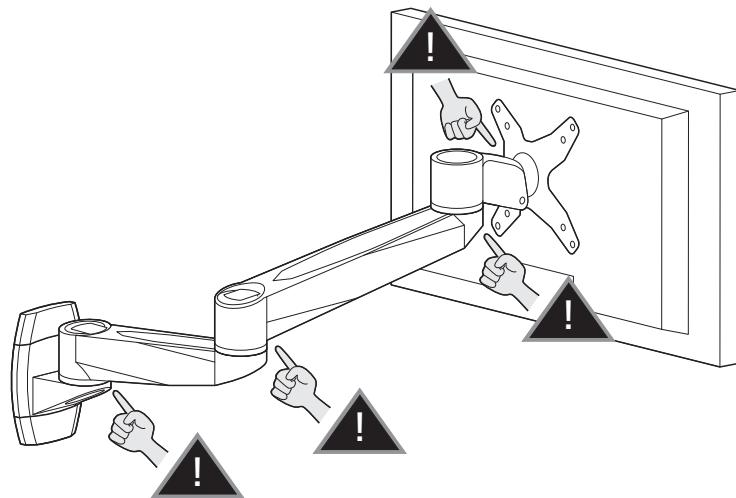


安全の為に注意していただく点

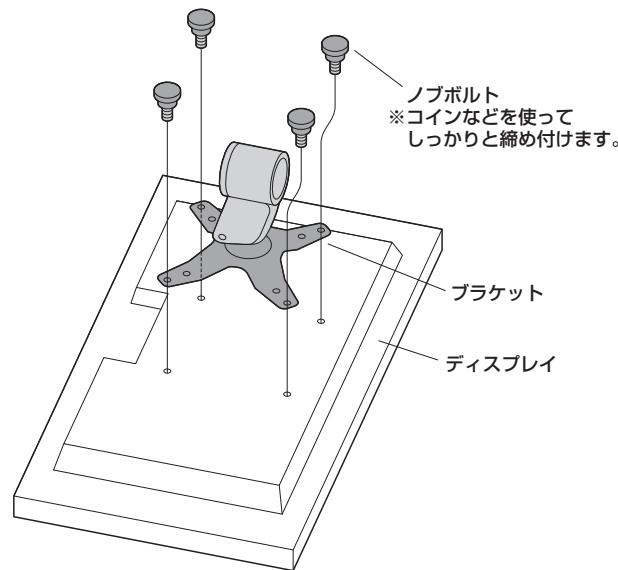
ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



可動部分で指をはさまない様に注意してください。



ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。



その他

- ! 本製品を、振動のある所に置かないでください。
- ! 15kgを越えるディスプレイは取り付けないでください。
- ! アーム部に物を置かないでください。
- ! 室温の元で操作してください。

以上の点に注意して取扱ってください。